



さんびょう6

三錨VI

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校  
学校だより

No. 29

平成30年 3月13日

## 次年度のより良い学校づくりのために（その2）

### ～平成29年度 教育活動に関するアンケート結果報告（保護者の部）～

＜保護者用アンケートの結果から＞【提出数 299（回収率93.1%）】

アンケート期間中、集団風邪による学級閉鎖が連続していたことも多少影響したのか、回収率は昨年度96.9%から約4%下がりました。アンケートの回収率は保護者の皆様の学校に対する理解や関心と相関関係があると捉え、今後とも、積極的な情報発信に努め、「地域・家庭・学校が一体となった学校づくり」により一層努めていきたいと思ひます。

※文章中の、A、B、C、D、Eは、次のようになります。

- A：そう思う                      B：どちらかといえばそう思う  
C：どちらかといえばそう思わない  
D：そう思わない                  E：判断できない・わからない



#### ◆全体的な傾向に関すること

- ・全ての質問で、AとBを合わせた評価の割合が、約80%～90%（質問③⑤⑥はE評価を除いたA～D評価に占める割合に換算した数値）を占めており、本校の取り組みに概ねご理解いただいているものと考えます。
- ・質問①「**学校目標の実現をめざして日々の教育活動の取り組みを進めている**」では、今年度はAとBを合わせた評価の割合が81%で、昨年度より9ポイント下がりました。これは、12%の方がE（判断できない・わからない）と回答されたことによるものと思われる。今後は、学校だよりや学校説明会等で、ていねいに学校教育目標等の説明を進め、その取り組みについても学校だより、学年・学級通信、ホームページ等で積極的に紹介していきたいと考えています。

#### ◆確かな学力の定着に関すること

- ・質問②「**基礎・基本の学力の定着**」に関することについては、A・B評価を合わせて88%と昨年度に比べ4ポイント減少しました。その一方、児童用アンケートでは、「学力がついてきている。」と実感している児童が90%と高い評価を得ています。引き続き、基礎基本の力の定着を大切に考え、少人数授業やベーシックタイム（朝の10分間学習）等で、漢字や計算力の向上を目指した取り組みを進めてまいります。また、その様子を保護者の皆様にも各種便り等でお伝えし、ご理解を深めていきたいと思ひます。各ご家庭におきましても、「家庭学習の手引き・進め方」を活用していただき、家庭での学習習慣の定着に心がけていただきますようご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。
- ・③「**指導法・内容の工夫**」に関することについては、AB評価の合計が昨年度に比べ9ポイント減少しました。また、全体的にも、ABの評価が、他の項目に比べ例年低い傾向にあります。指導法や・指導内容の工夫は保護者の皆様に伝わりにくいところでもあります。日々、私たち教職員が研修を深め、指導方法や指導内容の工夫・改善に努めていることを実感していただくためにも、授業参観・通信・ホームページ等を利用してお伝えし、ご理解を深めていきたいと思ひます。

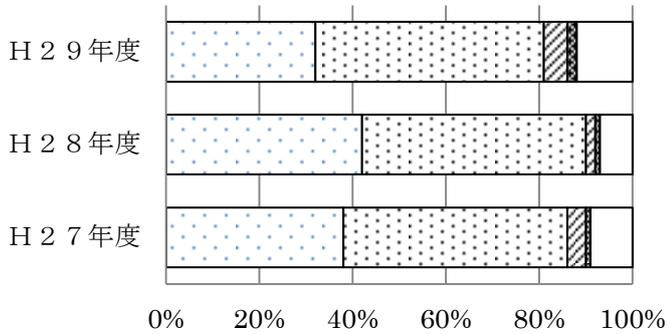
#### ◆豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成に関すること

- ・質問⑤「**いじめ**」問題の対応に関わることについては、A・Bのトータルポイントが漸減し、少数ですがDが2ポイントから4ポイントに倍増しているのが気になるところです。質問項目にある「いじめアンケート」や「Q U検査」を実施し、それに基づいて全員に教育相談を行っている事実を、印象に残る形で周知させていくことも大事かと思ひます。さらにDについては実際にトラブルに接した家庭である可能性が高いので、今後も一件一件丁寧な対処し、不満を残

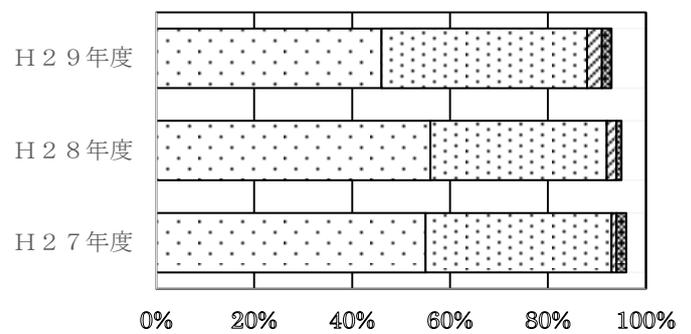
## H29教育活動に関するアンケート（保護者）集計結果

A そう思う 
 B どちらかといえばそう思う 
 C どちらかといえばそう思わない 
 D そう思わない 
 E 判断できない・分からない 

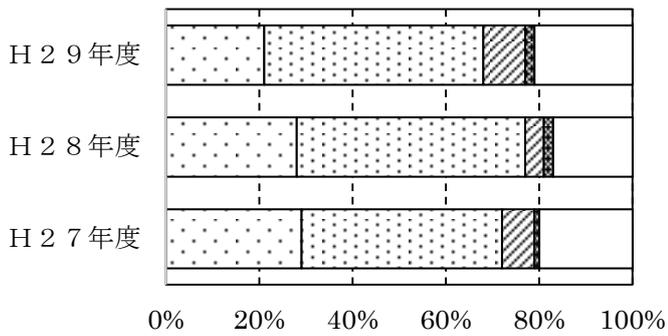
### ① 学校教育目標の達成



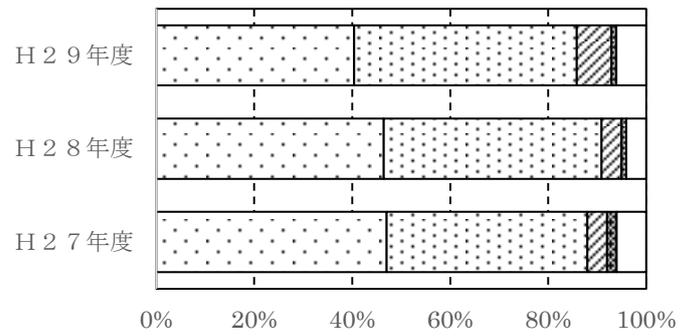
### ② 基礎・基本の学力定着



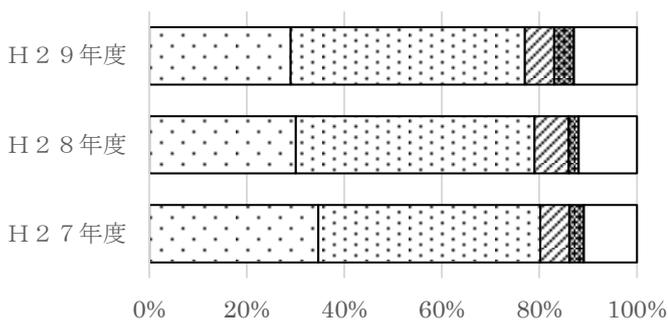
### ③ 指導方法・内容の工夫



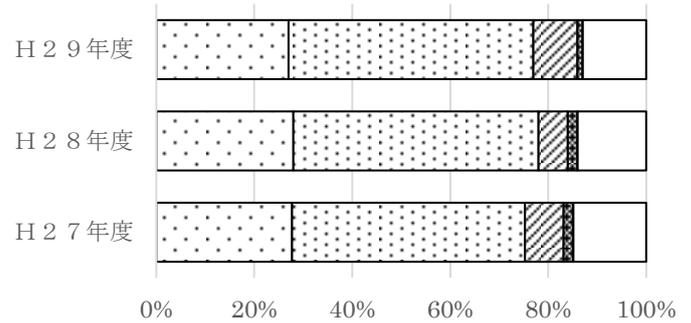
### ④ 体験活動等の充実



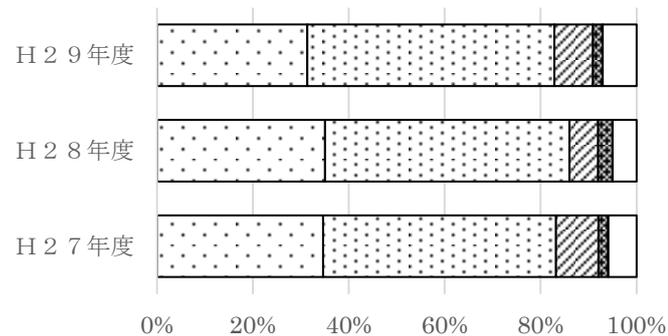
### ⑤ いじめの未然防止



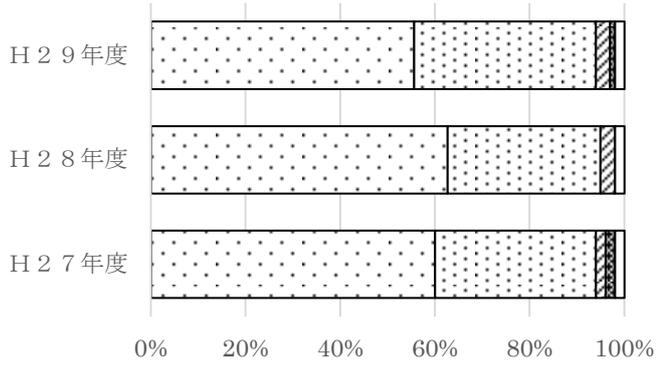
### ⑥ 保護者と連携した教育の充実



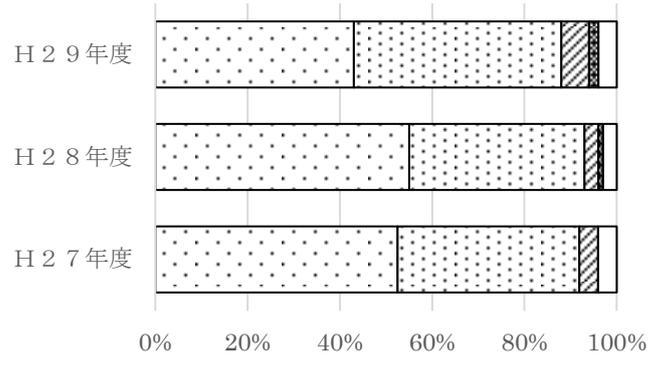
### ⑦ 生活習慣の定着と規範意識の高揚



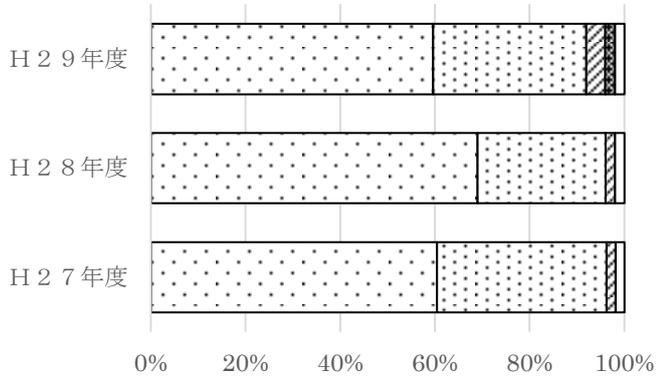
### ⑧学校行事の有意義な実施



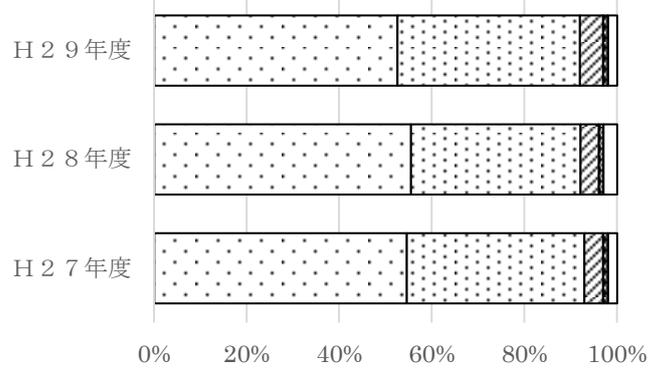
### ⑨読書活動の工夫



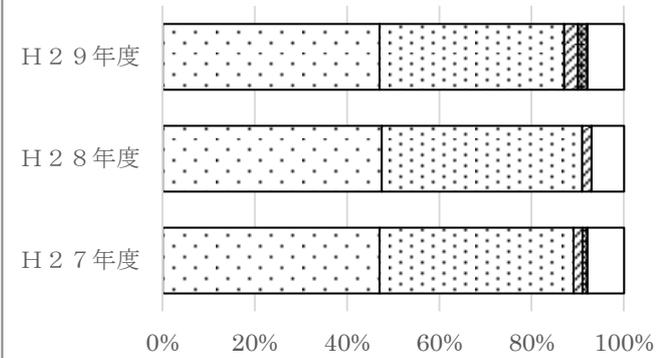
### ⑩危機管理の徹底



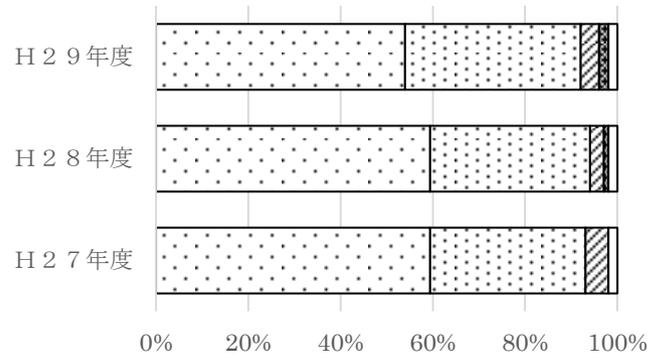
### ⑪基礎体力の定着と運動能力の向上



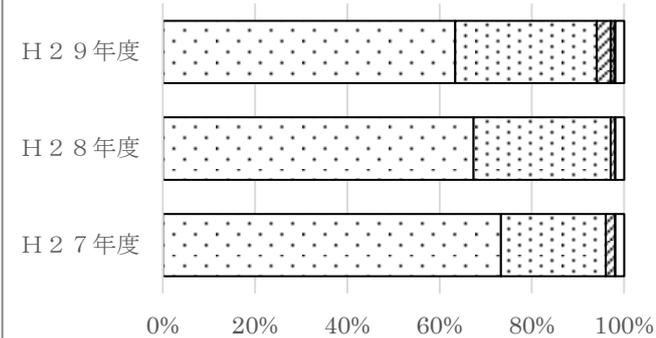
### ⑫保健指導と食育



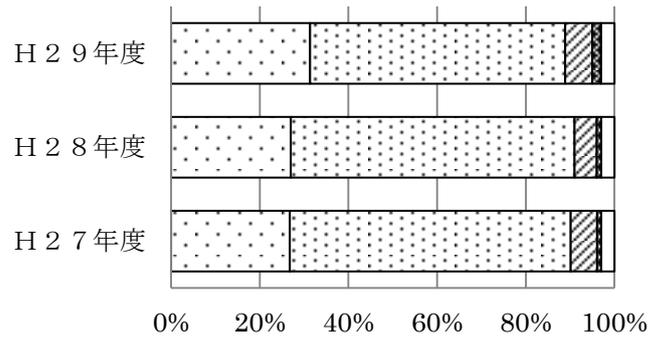
### ⑬通信等による情報提供



### ⑭授業参観や学校行事等の案内の工夫



### (保) 保護者としてのかかわり



さない形での解決が必要だと考えます。

文章で記述頂いた中には、本校のいじめ対応について評価していただいているものもありましたので、理解がさらに広まるように取り組んでいきたいと思いをします。

- ・質問⑥「定期的な教育相談の実施やスクールカウンセラーの活用・・・」については、トータルではこの三年間大きな変化はないと思われまます。教育相談体制や、SCまた専門機関との連携は着実に成果を上げてきています。ただし専門機関との連携が必要とされる児童の増加に体制が追い付いていない現状も否めません。特に発達に課題のある児童については、多くが通級学級や市のU-8事業への予約待ちの状態にあるのも事実です。また文章表記の中にもSCの常駐を希望するものもあり、学校独自では解決できない部分です。さらなる相談・支援等の行政的な取り組みの充実を要望する声を大きくしていかなければならないと考えています。
- ・質問⑦「基本的生活習慣の定着や社会生活上のルールの徹底により、規範意識の高揚に努めている」では、数値的には一昨年、昨年までと大きな変化はないものと思いをします。しかし文章で記述頂いた中に「あいさつができていない。」との指摘が多かったことに注意が必要です。実際日頃接して登校時等に進んで出来ている様子があまりなく、声も小さいので、旗当番や見守りの方ががっかりされる状況も理解できます。校外行事・集会・クラス・児童会の活動等、場面に応じてあいさつを意識させる取り組みは日常的に行われていますが、あたりまえの姿としての「どんなときも」「進んで」「自分から」「相手に伝わるように」の部分はなかなかできるようになりません。このことはまた家庭教育と50:50の部分でもありますので、学校・家庭が協力しながら取り組んでいきたいと思いをします。
- ・質問⑨「読書活動の工夫」では、A・B合わせた評価は、昨年度に比べて6ポイント減少しています。学校の読書週間中の朝の読書では、どの学年でも集中して読書する姿が見られます。また、図書委員会の企画にもたくさん子どもたちが参加しています。しかし、日常的に自分で時間を見つけて読書をする児童は、少ないのではないかと考えられます。保護者の皆様の協力を得ながら、「ふれあい読書」等の機会に、家庭学習の一つとして、読書に取り組むよう声をかけていきます。

#### ◆健康・体力の向上と危機管理能力の定着に関すること

- ・質問⑩「危機管理の徹底」に関することについては、AとBの肯定的な回答が90%を超えていますが、28年度と比べるとやや低下しました。学校敷地内、周辺での不審な物の発見の時期と重なったことも肯定的な回答の低下につながっていると考えられます。学校の取り組みとしては、毎年の緊急下校や避難訓練、そのための事前事後指導等を引き続き行っていきます。今後もケガや事故が起きないよう児童の安全確保、危機管理意識の向上、情報提供に努めたいと思いをします。
- ・質問⑪「基礎体力の定着と運動能力の向上」に関することについては、例年、90%以上の肯定的な回答をいただいています。毎年、年間計画に基づいて各行事や〇〇月間（鉄棒・とび箱・持久走・縄跳び）、体育科の授業等を継続的に行っています。春に行われる体力テストでは、全学年で取り組み、結果を記録しています。毎年取り組むことで、児童は前年の記録を超えようと意欲的な姿が多く見られ、今後も継続的な取り組みを行っていききたいと思いをします。
- ・質問⑫「保健指導と食育」に関することについては、90%近くの肯定的な回答をいただいているものの、最近3年では、やや低下ぎみの結果になりました。毎年、学校で取り組みは行っていますが、通信やホームページ等での発信が足りなかったことも要因の一つかもしれません。それが、8%の「判断できない・わからない」という回答からもうかがえます。児童の健康に関することや食育は、ご家庭の協力なしにはできないことですので、今後も学校とご家庭とで連携を図れるよう情報提供に努めたいと思いをします。

#### ◆地域とともにある学校づくり推進に関すること

- ・質問⑬「通信、ホームページ等による情報提供」、質問⑭「授業参観や学校行事等の設定や呼びかけ」に関することについては、AとBを合わせた評価の割合が90%以上ですが、昨年度に比べると、ともに3ポイント下がっています。学校だより、学年・学級通信、ホームページ等による発信を積極的に行ってきましたが、「判断できない・わからない」という回答が昨年度より8項目増えたことも真摯に受け止め、より丁寧な情報発信に努めてまいりたいと思いをします。